

沖繩視察の旅

令和5年2月16日から2泊3日、農業委員で沖繩視察旅行に行ってきました

沖繩県本土面積 1, 199 km²・人口 1, 224, 726人 亜熱帯海洋性気候で

サンゴ礁の美しい海、自然豊かな島、平均気温年平均23度と1年通し温暖でリゾート地として人気。主産業観光が中心でコロナ禍前は年間来場者 9千5百万人 収入7千億円

視察先、恩納村は本土の中心部西海岸に位置し、サンゴ礁の広がる美しい海岸線、海と山に恵まれたリゾート地、概況は人口1万877人、4, 889世帯、面積51, 82 km²

主に観光業中心、水産、農業（農家戸数400戸）、観光地は万座毛、真栄田岬、海浜公園ビーチ、ホテル20軒。農業特産品は、ゴーヤ、かぼちゃ、小菊、オクラ、キャベツ、レタス、観葉植物、パッションフルーツ以前はレタスの栽培をしていなく、長野県川上村は冬場レタス栽培が出来ない。恩納村では冬場気温は20度前後と、川上村の夏場温度と同じ事から、レタス栽培に取り組むプロジェクトを、平成28年度、恩納村若者農業者の就農や遊休農地の有効活用を取り組むプロジェクトを川上村農業者と友好交流が始まる。16名の栽培農家に、川上村から8名の栽培農家が訪れ技術指導に当たり。当初、青果事業所、市場、ホテルへの出荷見込。2、3年過ぎると、栽培を行う上で強風特に塩風による塩害、土壌が石灰岩上ある所は乾燥しやすい、鳥（タイワンシロガラシ）による、定植直前の苗や収穫前の食害の発生に悩まされる。暴風、防鳥ネットの設置、しかし強風の影響で効果でない所も多数あり、出荷量が安定しない、灌水設備は現在15地区、6地区が無い状況です。現在若者は収入が多い観葉植物、パッションフルーツ栽培に移行している、年々農家が減少し、レタス栽培は高齢者が頑張っている状況です。役場農林水産課、農林係大城さんがレタス栽培担当者になり、現在も交流を続けている、川上村を訪れ栽培技術取得し栽培農家に指導している。課題は数多くあるが品質の良いレタスを多くの農家で栽培が出来る様に頑張りたい。川上村の帰りの際には原村にも寄りたと言ってきました。後日、観光バスで晴天の暑い日差しの中、観光地巡りをしてきました。

武田廣美